

家庭ごみの減量化に取り組みましょう！

那珂市民が年間に出した家庭ごみの排出量は、過去5年間減少傾向にありますが、まだまだごみの排出量は高いレベルにあります。どのようにすればごみを減らせるか、それぞれの家庭の知恵がいま必要とされています。

今回は、「生ごみ」について考えてみましょう。家庭から出される可燃ごみの約10%は「生ごみ」です。生ごみの約80%は水分で、ごみの水切りをすることで約10%減らすことができます。さらにコンポスト化（堆肥化）によって、生ごみの減量化が図れます。

問い合わせ

環境課環境グループ
☎298-1111
(内線447~449)

<なぜ、ごみを減らす必要があるの？>

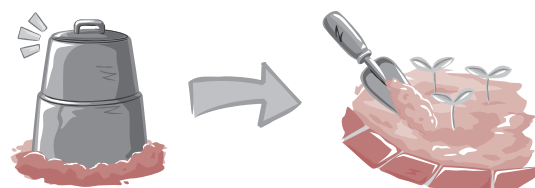
焼却施設（環境センター）での焼却効率やごみ収集車の運搬効率が向上します。ごみの量を減らすことで、この費用を削減でき、また焼却施設の耐用年数を伸ばすことができます。さらには、ごみを燃やすことで発生する、地球温暖化の原因となる、二酸化炭素（CO₂）の排出量を減らすことができます。

<生ごみ処理機器の種類>

【コンポスト】	【バイオ型電動処理機】	【乾燥型電動処理機器】
生ごみとともに、乾いた土、落ち葉などを入れ、土の中の微生物の力で生ごみを分解します。かき混ぜるといった管理（メンテナンス）を3～6か月することで堆肥化が可能です。	微生物が活躍しやすいようにかくはんや加熱を行い、微生物の力で生ごみを発酵・分解します。	生ごみをかくはんしながら熱風を送り乾燥させて減量します。
補助金→購入金額の1/2（上限3,000円）	補助金→購入金額の1/2（上限20,000円）	

<生ごみ処理機器使用のメリット>

- ①ごみ出しの袋が軽くなり、回数も減る
- ②台所が清潔・衛生的になり、臭いも減らせる
- ③ごみ集積所を動物に荒らされにくくなる
- ④家庭菜園などに使う肥料を作れる



<生ごみ処理機器購入補助金を受けた世帯に対し、アンケートを実施しました>

これから生ごみ処理機器を利用されるかたへの参考としていただくために、電動生ごみ処理機器・コンポスト容器を購入し、過去2年間に市の補助金を受けた世帯を対象にアンケート調査を実施しました。（回収率82.9%）

【アンケート結果】

- ・生ごみ処理機器購入の目的は「堆肥を作るため」「ごみ減量化に取り組むため」という意見が多数でした。
- ・使用してから可燃ごみの排出量が減ったというかたが70%以上でした。
- ・できた生成物は「肥料として利用している」「土に還している」というかたが90%以上でした。
→アンケート結果から、生ごみ処理機器はごみの減量化につながっているといえます。

“循環型社会をめざして”

わたしたちは、①地球上の資源は有限であること、②最終処分には限界があること（焼却処分は二酸化炭素（CO₂）の排出量を増やすこと、埋め立て処分のための土地がなくなりつつあること）、を考慮し、従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄型社会」に代わり、ごみの量をできるだけ少なくした循環型社会をめざす必要があります。循環型社会とは、資源→製品→使用→廃棄→再使用・再生（→資源…）というサイクルが確立された社会です。

このような社会は、【3R】（①リデュース…ごみの発生を抑制する、②リユース…ごみを再利用する、③リサイクル…再び資源として再利用する）が徹底されることにより実現されます。特に「ごみを出さないこと」が重要なのです。

最近では、ごみとなるものを買わない・少しぐらい傷んだものは修理して使用するということも重要とされています。